



上野南部自治協だより

平成29年11月15日発行

第36号

— 発行 —

上野南部地区住民自治協議会

上野南部公民館

伊賀市上野桑町1412

TEL: 23-5236

HPアドレス <http://ueno-nanbu.com>

第9回上野南部地区運動会開催

10月1日(日)上野南部地区住民自治協議会主催の運動会が上野東小学校グラウンドにて開催されました。



受付



大会会長の挨拶



競技委員長から競技の説明



大会委員長の競技宣言



各チームから選出されたリーダーによる選手宣誓



たくさんの景品(ゲットしたいな〜!)

競技前に『忍にん体操』で準備体操

当日は天候に恵まれ、早朝より実行委員の皆様による準備が整い、参加者が次々とおとずれ、受付時にくじで渡されたリストバンドで、赤・白・青・黄の4組に分かれ、組対抗戦や全員が参加できる競技が行われました。



おめざ パン食い競争



スプーンレース



KICK & TRY



玉いれさせへん!



地球を救え!



上野南部ウルトラクイズ



フライングスリッパ



ローリングボール



大玉ころがしリレー



山こえ！谷こえ！宅配レース



ポスターの掲示



上野南部地区にかかわる4択クイズでは、10問の問題が終わるまでに正解者が一人になり、賞品ポイントの80個のおはじきを総取りするなど、大いに盛り上がりました。

おはじきで交換される賞品もたくさん用意され、子供も大人も大奮闘、秋晴れの日を楽しく過ごしました。

閉会式では、組対抗戦の1位～4位に賞品が渡され大歓声、大会ポスターの優秀作品には、各部会長から賞品が渡され、最後は参加者全員による会場の清掃作業が行われ無事終了しました。



優勝 黄チーム



準優勝 青チーム



3位 赤チーム



4位 白チーム



ポスターの表彰



女性部による焼きそば



おはじきで賞品と交換

子ども達72名の**ポスターの応募**があり、下記の方々が表彰されました

(敬称略)

☆住民自治協議会長賞☆

中林 新菜 (上野万町)・長谷川 慧 (上野恵美須町)・樽井 誠士郎 (上野愛宕町)

☆運動会実行委員会会長賞☆

青野 馨 (上野東日南町)・澤 良輔 (上野鉄砲町)・山中 湊斗 (上野池町)

☆健康スポーツ部会長賞☆

青野 慎 (上野東日南町)・勝元 こよみ (上野池町)・長谷川 あつし (上野恵美須町)

☆教育文化部会長賞☆

松田 奏朱音 (上野鉄砲町)・奥沢 悠輝 (上野桑町)・中林 聖菜 (上野万町)

実行委員の皆さん、前日と朝早くからの会場設営や、大会運営、女性部会の皆さんによるおいしい焼きそばなど、大変ご苦労様でした。



民生福祉部会

民生福祉部会主催の「上野南部地区散策事業」として第2回目は9月27日に桑町神社、第3回目は10月16日に上野南部地区に祀られているお地蔵さんめぐりがそれぞれ開催されました。日ごろ何気なく身近に接している神社やお地蔵さんについて氏子総代さんや地元の見識者から熱く説明を受け、改めて親しみを感じました。桑町神社には25名、お地蔵さんめぐりには33名が参加しました。今後も色々と計画中です。お楽しみに！

【9月27日 桑町神社】



桑町神社



拝殿にて



社務所にて

【10月16日 上野南部地蔵めぐり～西コース編】



東日南町溝川地蔵横消防ポンプ庫前



一願地蔵尊（鉄砲町）



寿源地蔵（西忍町）

中部管区警察局より表彰される

この度、三重県総合文化センターで行われた「地域安全暴力追放三重県民大会」で上野南部地区住民自治協議会が推進している地域安全活動が認められ、中部管区警察局並びに中部防犯協会より表彰されました。表彰式には小丸自治協会長が出席しました。

上野南部地区の地域安全活動は、25年前の平成4年に故 清原正輝上野南部地区市民センター所長などが提唱し、「地域安全活動推進協議会」を立ち上げ、徒歩による防犯パトロールと「セーフティ マイ タウン」という啓発季刊紙を発行し、地域安全に絡ぐるみで取り組んできました。平成17年に市町村合併により伊賀市が誕生し、上野南部地区住民自治協議会の傘下として、「地域安全活動推進協議会」が組み入れられ、パトロール車を中古で購入して、車両による防犯パトロールを導入しました。平成21年に新車のバンをリースで導入して、青色回転灯や啓発アナウンスを実施し現在に至っています。アナウンスの声は8年前の小丸友美さんです。上野南部地区住民自治協議会 生活安全部会が地域安全活動を中心的に取り組みをいただく中で、地域の安全に寄与しています。



環境・美化部会

◎8月6日(日) 環境・美化部会の視察研修(四日市公害と環境未来館)
「四日市市の公害を環境の視点で考えよう」が行われました。



戦後の高度経済成長期の日本では経済優先で住民の健康被害を顧みず、企業優先の施策が多く、のぜんそく患者を生み、大きな社会問題となりました。四日市市では全国に先駆け、環境問題に取り組み、汚染企業を相手に裁判をおこし勝訴。その後、公害被害者に対する医療費助成制度や排ガス規制などの対策も実施され、現在のきれいな青空を取り戻しました。昼食後はプラネタリウムで満天の星空を楽しみました。

◎10月16日(土) 池町・茅町・恵美須町地区の早朝清掃奉仕(クリーン作戦)が行われ、57名の町民、環境・美化部会の皆さんにより、45ℓのゴミ袋32個分が収集されました。

また、10月28日(土)には桑町地区の早朝清掃奉仕(クリーン作戦)が行われ、少雨の中10名の町民、環境・美化部会の皆さんにより、45ℓのゴミ袋14個分が収集されました。

日ごろからゴミのポイ捨てに注意しましょう。参加されました皆様、大変お疲れ様でした。



ええとこ便り

今回は「茅町地蔵」です。

伊賀鉄道茅町駅の南、踏み切り近くに茅町地蔵堂があります。

土地の古老によると、茅町のあたりは「南堀」と呼ばれ、南の一带は大きな沼(池)が広がっており、沼の北は道に沿って幅3メートルくらいの木興池に注ぐ溝川(今はほとんど暗渠)が流れ、あちらこちらに橋が架かっていました。「上野丘陵の南縁部にある自然の沼溝を改修して、東部のかご池(現:伊賀鉄道茅町駅付近にあった大池)と西端の木興池(現:万町の南端にあった大池)を結ぶ水路の外堀を整え・・・」と資料に記述があります。

昭和24年、大池(かご池と思われる)を埋め立てたあと、土地の人が偶然溝川に埋もれていた泥だらけの石像を見つけ洗ってみるとお地蔵さんだったということで、茅町の遊園地(現:集議所の辺り)の一隅に安置したのを後に今の場所に移した。燭台になっている丸みをおびた石の正面には字が刻んである「昭和」とまでは読めるが以下は判読できない。地蔵堂の中央を仕切って、右側にもう一体の石仏が安置され、その傍らに陶製の「狸」が一体立っている。大池を埋め立てた後は、だんだん住居などが建てられていったが、その一つに、乾繭(カンケン)場があった。かなり大きな建物だったので、演芸などの興行にも使われた。芝居が終わって観客が外へ出ると前の溝川に落ちて怪我するなどの災難に遭うことが度々あったという。そんな折のこと近所の人々が又、偶然に溝川からいわくありげな石を拾い上げた。自宅に持ち帰り祀っていたが、後に、上行寺(上野寺町)の住職に祈祷してもらったところ、「これはくろさん」との託宣があった。(「くろさん」とは四国地方の言葉でタヌキのことらしい)



「くろさん」を持ち帰った家人は地蔵堂に祀った。それからは溝川に落ちるような災いはピタリとなくなり、踏切事故も一度もない。という古老の話である。

近年の会式は、上野茅町自治会により8月23日直前の日曜日に営まれています。

※「わが町・鉄砲町」お地蔵さんを祀って「茅町地蔵について」永井氏談より引用